

鎌倉女子大学生涯学習センター  
2022年度公開講座 前期オンデマンド配信プログラム  
申し込みと受講のご案内

今期は全講座を「オンデマンド配信」にて行います。  
※「対面講座」および「会場での講座動画視聴」は行いません。



〈 申込方法・開講期間 〉

プログラムの詳細と申込みは  
「ホームページ（QRコード）」から



申込受付期間：4月15日（金）～4月25日（月）

動画配信期間：6月6日（月）～7月26日（火）  
期間中は繰り返し何度でも視聴可能です。

〈 受講料 〉

受講料：1コース 各3,500円  
納入期限：5月25日（水）  
申込完了後、所定の期間に受講料を納入してください。  
（納入方法は5月に発送する書類をご確認ください。）

〈 受講・視聴方法 〉

配信開始直前に、視聴に必要な情報をメール送信します。  
メールが受信できるようPC等の設定確認をお願いします。

受講に必要なPC／タブレット／スマートフォン等機器類・  
インターネット接続環境・通信料などの費用は、  
受講生のご負担となります。

指定テキスト（教科書）の利用  
各自書店等でご購入をお願いします。  
（受講料にテキスト代は含まれません。）

講義資料  
配信システムから閲覧・ダウンロードできます。

公開講座・オンデマンド配信についての連絡  
配信システムや本学HPからお知らせします。

講座申込から受講までの流れ

ホームページから申込み



受講料納入のご案内  
（コンビニ払込取扱票送付）



受講料の納入（コンビニ払い）  
※記載された納入期限までに！



メールによる受講のご案内



配信（視聴）開始  
期間中は繰り返し何度でも視聴可能

〈 注意事項（必ずご確認ください） 〉

【受講手続と受講料】

- ・受講申込みと受講料全額の納入をもって受講手続成立となります。
- ・受講料納入後のキャンセルは、原則として応じられません。
- ・払込受領証は「受講票」の代わりとなります。講座終了まで大切に保管してください。


【オンデマンド配信受講時の注意事項】

- ・配信コンテンツの録音・録画・撮影等の複製行為や第三者への公開・提供はお断りします。
- ・配信コンテンツの視聴に伴い発生した、不慮の事故、不具合・不利益等に本学は責任を負いかねます。
- ・受講に際して取得した個人情報は当公開講座運営以外の目的には使用いたしません。

鎌倉女子大学 生涯学習センター 〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1-3 ☎ 0467-44-2287  
<https://www.kamakura-u.ac.jp/houjin/index.html> お問い合わせはお電話にてお願いします。

このプログラムの掲載内容は、2022年3月10日現在のものです。  
この「プログラム」に掲載されている文書・画像等の無許可転載・転用を禁じます。

## 2022年度 前期プログラム（オンデマンド配信）の概要

- 指定テキスト（教科書）の利用  …指定テキストあり  
各自書店等でご購入をお願いします（受講料にテキスト代は含まれません）。
- 講義資料  
配信システムから閲覧・ダウンロードできます。
- 公開講座・オンデマンド配信についての連絡  
配信システムや本学HPからお知らせします。



お申し込みはこちらから

2022F  
Aコース

日本精神史講座：生老病死の思想

東京大学名誉教授 竹内 整 一

われわれは、なにを願い、なにを楽しみ、なにを悲しみ、それらをどのように求めたり、表現したりしているのでしょうか。このような問いを、あらためて「生老病死の思想」という視点から考えてみます。今期は、①「人生は夏休みよりはやく過ぎる」論、②「老い」を哲学する、③「せつない」という感情、というテーマで考えます。

▶講師紹介  
元鎌倉女子大学教授。  
前日本倫理学会会長。専門は倫理学、日本思想。NHK講座「倫理」「ここをよむ」講師、「サイエンス・ゼロ」コメントーターなどを務める。



2022F  
Bコース

建築学講座：美しい日本の建築 - 景・建築・庭（1） -

東京家政学院大学客員教授 松崎 照 明

日本建築の美しさはどこにあり、何を見ればわかるのでしょうか。日本の建築は建物ばかりを見ていると本当の美しさを知ることはできません。この講座では建物だけではなく、その背景となる景色や付属する庭も含めて、最も美しい日本の建築を写真や図版を使いながら紹介し、見どころを解説します。

▶講師紹介  
博士（工学）。専門は日本建築意匠学。一級建築士。横浜国立大学、東京藝術大学大学院、東京大学非常勤講師。



2022F  
Cコース

宗教学講座：一神教は世界をどう変えたか  
- 聖地エルサレムの今昔物語 -

東京大学名誉教授 市川 裕

エルサレムという聖都の歴史を、古代・中世・近現代にわたって眺めてみると、一神教が世界じゅうへ広がって、中東の一地方都市が、「世界に冠たる聖地」へと変貌を遂げたことがわかります。3つの一神教は、それぞれ、エルサレムとどのように関わってきたのか。その似たところと違ったところ、また、エルサレムは日本人から見ると、どういう場所なのか。日本の聖地とも比較して、宗教の持つ力を考えてみたいと思います。

▶講師紹介  
1953年生。法学部卒業後イエス時代のユダヤ教を学ぶため文学系大学院を経てエルサレムへ3年間留学。筑波大学を経て東大文学部で教鞭をとる。主著『ユダヤ教の精神構造』（東京大学出版会）



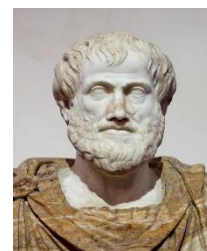
2022F  
Dコース

哲学講座：西洋の正義論の核心にあるもの  
- 自由と平等の問題を考える -

鎌倉女子大学准教授 河合 孝 昭

西洋の哲学・倫理学において「正義」というテーマがとりあげられる際には、「自由」と「平等」の関係性が、さまざまな形で問題になってきました。この二つは、相補的であると同時に対立的でもある概念であり、その錯綜した関係性から多様な論点が出てきます。本講座においては、この自由と平等の関係性を中心に、「正義論の父」と呼ばれるアリストテレスからロールズの正義論に至る思想の流れの中で、何が争点になっているかをわかりやすく解説します。

▶講師紹介  
早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程（哲学専攻）満期退学。パリ第10大学DEA修了。専門は西洋近・現代哲学。鎌倉女子大学では、「倫理学演習」、「ロジック」、「フランス語」などを担当している。



2022F  
Eコース

日本文学講座：『万葉集』防人の歌

埼玉大学名誉教授 山 野 清二郎

『万葉集』巻二十に載せる諸国の防人の歌々は、84首を数えます（他の巻にも若干散在していますが）。これらの作品は、古くから読み解かれて来ており、また歌の詠まれた状況や場なども、いろいろに推察されています。文学史上特異な作品群ですので、注目の度合いも高いことと思います。この講座では、未講でした。今回は巻二十に掲載されている順に、遠江国7首・相模国3首・駿河国10首・上総国13首と読み進めて行きます。テキストはプリントにしてお配りします。

▶講師紹介  
東京教育大学大学院修了。  
埼玉大学名誉教授。元鎌倉女子大学教育学部長。専攻は日本漢文学・日本上代文学。論文に「『懐風藻』から『万葉集』を見る」他。著書に『本の中の川越』他。



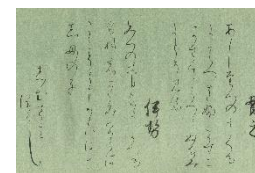
2022F  
Fコース

文化学講座：日本の書 - 文字文化を考える - (3)

鎌倉女子大学短期大学部准教授 杉 山 勇 人

日本の文字は、ことばを伝えるだけではなく、「書きぶり」という表現も伝えることができる大切な文化です。この講座では、日本の書について「文字文化」という視点から考えていきます。（書を習ったことがないという方でも全く問題ありません。）今回は、平安時代以降の多様な仮名の美（「関戸本古今集」「針切」「香紙切」など）から、鎌倉時代の歌と書（藤原俊成・藤原定家・西行）の文化を扱います。貴族社会から武家社会への転換期の文字文化の諸相を深く掘り下げてみたいと思います。

▶講師紹介  
東京学芸大学大学院修了。博士（教育学）。全国大学書道学会常任理事。専門は書写書道教育学・日本語史。書家・篆刻家としても個展・グループ展等で活動している。



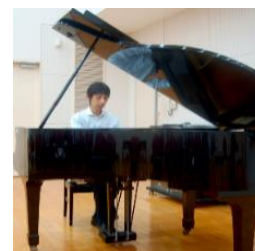
2022F  
Gコース

音楽理論講座：目と耳で楽しむ音楽理論

鎌倉女子大学教授 渡 辺 宏 章

この講座では、楽典の基礎から、音楽をより深く理解するために役立つ理論、音楽の仕組みなどについて解説します。実際の楽曲の例をご紹介しながら、楽器の歴史や奏法、メロディーとハーモニーの関係など、音楽の様々な要素にスポットをあてて考察していきます。また音楽にまつわるよもやま話や、作曲家のエピソードなどにもふれながら、音楽の楽しさと美しさを再発見していきたいと思えます。

▶講師紹介  
東京藝術大学大学院作曲専攻修了。日本音楽コンクール、宮城道雄記念コンクール等で入賞。スウェーデン政府給費生としてジュネーブ音楽院に留学。国内外の音楽祭等で作品を発表。



2022F  
Hコース

美術講座：20世紀アートの魅力(1)  
- 混沌の世界を表現した画家たち -

鎌倉女子大学講師 伊 藤 淳

20世紀のヨーロッパでは国境を越えて様々なイズム（主義）が登場します。今回の講座では、イタリア人のアメデオ・モディリアーニ、ロシア人のマルク・シャガール、日本人の藤田嗣治などが集ったエコール・ド・パリ、イタリアでウンベルト・ボッチョーニやジャコモ・バッラらが速度に挑んだ未来派、ロシア人のワシリー・カンディンスキーやマレーヴィッチ、スペイン人のジョアン・ミロといった音楽的な表現者らに焦点を当て、当時の社会的背景にも触れつつ、豊富な画像と資料を用いて楽しく解説していきます。

▶講師紹介  
多摩美術大学大学院修了。1997～2000年フィレンツェ大学在籍。専門はイタリア美術（特にルネサンス）。現在、各地の生涯学習センターなどで講師を務める。



生涯学習センターからのお知らせ



- ・「後期プログラム」は2022年7月下旬に公開予定です。
- ・受講申込みは9月以降を予定しています。ご受講をお待ちしております。
- ・生涯学習センターからの「公開講座」や「イベント」に関する情報は随時ホームページでご案内します。



※こちらの掲載内容については適宜変更することがあります。